2010　障がい問題の研究交流会

昨年（2009 年）、全国障害者問題研究会の全国大会を筑波大学で開催いたしました。2000 人の参加者があり、全国各地から「あたたかな集会だった」「勇気がわいてきた」との感想を得ました。

大会のかなめである分科会には、親、障がい者、教員、保育士など、幅広い層から 42 本の県内レポートの報告をしていただきました。レポートは、乳幼児期から高齢期まで、教育･福祉･労働と幅広い課題を深めるのにふさわしい内容でした。こうして、みなさんのご協力で大会を成功させることができました。

今回、全国大会の分科会で報告していただいた方々に、「先のレポートをさらにどう発展させているのか、困っていることは何か」など、気楽に出し合っていただく研究交流会を企画しました。その報告をもとに、レポーターをはじめ私たちの今後の取り組みを、いっしょに深めていきたいと考えております。

■　内容

13:00　開会（あいさつ）

13:10	報告　まず小さな要求から～組織と運動づくり 北嶋　誠さん（視覚障害者の立場から）
｜	報告　重度・重複児の教育のあり方について 鈴木輝子（県立勝田養護学校）
14:25	報告　児童デイサービスにおけるアセスメント 梅原恭子さん（あいの家「療育支援センター」児童デイサービス）
	休　　憩
14:35	報告　青年学級「フレンド」と共に 渡辺　千代子さん（県ダウン症協会）
｜	報告　子ども病院でのボランティア「先輩の話」 金子初江さん（県ダウン症協会）
16:00	報告　被害者学から見たハンセン病問題 小野瀬　智子さん（常磐大学大学院被害者学研究科）

※　聴覚障害のある方で、サポートを必要とする方は、2 週間前までにご連絡下さい。

※　報告の順番は、変更する場合もあります。

■　期　日　**2010 年 3 月 14 日（日）13:00～16:00**

■　場　所　**水戸市赤塚駅前　ミオスビル**

■　主　催　全国障害者問題研究会茨城支部

■　問合せ　　岡崎喜一郎　　あすなろ園内全障研茨城支部

Tel0296－35－1330　　Fax0296－35－1360

Ｅmail　ibasyoken@yahoo.co.jp